

令和2年度 匝瑳市まち・ひと・しごと創生市民会議(書面開催)  
提出意見等について

NO.	ページ	行・箇所	指摘・変更	意見等	考え方・対応
1	全般	-	交通アクセス・成田空港機能強化を踏まえた、匝瑳市の強みを生かした計画づくりについて	銚子連絡道路整備等による交通アクセスの変化や、成田空港機能強化等を踏まえた将来計画の考え方やあり方を、その道のコンサルタント(例:日本総合研究所の藻谷浩介氏など、地方創生の基礎を作られている先生方)に予算をかけてでも参加してもらいたい。 こうした状況を踏まえて、若者が夢を語れる一言を計画に加えていただきたい。 いよいよ匝瑳市にも銚子連絡道路が一步始まった。こうした変化を、匝瑳市のまちづくりにどう取り込むか、検討が必要である。	・総合戦略の策定や効果検証に当たっては、まち・ひと・しごと創生市民会議において、各専門分野の委員から幅広い御意見をいただいております。外部専門家等の招聘については、今後検討してまいります。 ・総合戦略への「若者が夢を語れる一言の追加」については、今後の策定・改定の際の参考とさせていただきます。
2	全般	-	市の取組等について(新型コロナ後)	新型コロナ後の社会変化を考えた施策が必要である。	・国、県をはじめ、関係団体と連携しながら、新しい生活様式の定着化、コロナ禍に対応した経済・社会活動の再稼働に向け、市独自支援策の推進等に取り組んでまいりたいと考えております。
3	全般	-	市の取組等について(IT社会対応)	IT社会に対応した施策が少ない。これからの社会はAIをはじめとしたSNS、オンライン、リモート等々により大きく変化する。途中で計画見直し等も含めた柔軟な対応が出来ないと、大変な遅れを生じることになる。	・コロナ禍でのデジタル社会化の動向を注視しつつ、必要に応じて総合戦略の計画期間中の見直しも検討してまいります。
4	全般	-	市の状況と取組について	過疎は多くの自治体が直面している、克服すべき、しかし非常に解決困難な問題である。 状況を逆転させて、発展へと舵を切ること、不可能ではないとしても至難であり、財政的裏付けと無限の人智が必要である。 当市では財政的資源はもちろん、人的資源も最大限に駆使し、まさに全智全能を傾け、あらゆる斬新で魅力ある政策を模索していただきたく、御期待申し上げるとともに、微力ながら協力させていただきたい。	・御意見のとおり、地域の課題を踏まえた、意欲と創意工夫による効果的な事業の実施と、地域内外の様々な主体と連携・協働し、人口減少に対応しつつ、持続可能な地域社会の実現を目指してまいりたいと考えておりますので、引き続き、御理解と御協力をお願いしたいと考えております。

NO.	ページ	行・箇所	指摘・変更	意見等	考え方・対応
5	全般	-	市の取組等の周知について	活動があまり市民や外部に周知されていないように思える。発信力を高めることを意識してはどうか。	・市内外に対する情報発信の強化と、取組に対する理解の醸成に努めてまいります。
6	全般	-	施策の評価について	1回やってKPIが◎評価になるのは甘すぎる。もう少し深堀りしなければ、何もわかっていない、伝わっていないことになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIは原則としまして、事業や取組により得られた成果である「アウトカム指標」を設定しています。また、指標化や効果測定が困難な項目に関しては、行政活動そのものの結果である「アウトプット指標」を設定しております。</li> <li>・KPIの評価及び取組の成果や課題等を踏まえ、次の取組につなげていきたいと考えております。</li> </ul>
7	全般	-	進捗管理について	課題解決と目標達成に向けて、匝瑳市独自で解決するもの、県や国の協力を必要とするものを区別して、独自で出来るものの達成率を上げるように努めていただきたい。	・各主体の役割や取組内容の精査等により、より効果的・効率的な事業実施に努め、課題解決と目標達成を目指してまいります。
8	全般	KPI	課題等のコメント内容について	課題等のコメント欄に「既にKPIを達成。」との記載が散見されるが、指標を達成できた理由の説明があると良いと思う。課題目標を達成していく過程において、PDCAサイクルを活用してみてもどうか。できなかったことはできなかった理由を考えて次の戦略を検討し、できたこともできた理由を考えることで、さらに高い目標へ向かうことができるのではないか。	・今後、進行管理シートの取りまとめに当たりましては、取組内容や背景等を付記し、PDCAに反映・活用できるように努めてまいります。

NO.	ページ	行・箇所	指摘・変更	意見等	考え方・対応
9	8	具体的な事業	転入者マイホーム取得奨励金について	交付対象者を「親と同居する世帯」、つまり息子夫婦や娘夫婦にまで拡大した上で、これに併せて奨励金の引き上げも今後検討してみてもどうか。 【理由】 子が親と同居することで、人口減少の抑制に加えて、子育ての不安解消とそれに伴う出生数の増加、さらには「親の介護」、「空き家対策」などにも役立ち、幅広い効果が期待できる。	・奨励金額の引き上げ及び交付対象の拡大につきましては、他の自治体の取組等を踏まえ、今後検討してまいります。
10	9	具体的施策	高校生のまちづくりへの参加について	地元を知り、将来のUターンにつなげるための取組は大切なことだと思う。高校生に限らず、小中学生のまちづくりへの参加を通じて、斬新な意見を参考にできるかもしれない	・小・中・高校生(以下「高校生等」という。)が自分たちの地域のことを知り、主体的に関わっていくことは、将来の地元への関わり方や心の向け方に大きく影響すると考えられます。そこで、市との意見交換会やボランティア等の地域活動を通じて、高校生等が本市を知り、より親しみを持てるよう、高校生等が参加できる事業の増加や、市民提案型事業(子どもまちづくり提案型)の活用促進等を通じて、まちづくりを意識した様々な提案ができるような環境を整えてまいります。
11	9	-	市の取組等について(中高生対象施策)	匝瑳市の未来を担う、中高生対象の施策に力を入れることが重要である。(起業家育成やボランティア体験等)	
12	10	-	子育てしやすいまちづくりについて	一層推進していただきたい。	・本市の子どもとその保護者が幸せに住み続けることができるよう、令和2年3月に策定した「第2次匝瑳市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、地域の協力のもとで子育て支援の各事業に取り組み、引き続き、子育てしやすいまちづくりを進めてまいります。

NO.	ページ	行・箇所	指摘・変更	意見等	考え方・対応
13	11	KPI	育児休業取得率について	<p>課題等のコメント欄に「現状、具体的な取組なし。」と記載されているが、なぜ取組をされていないのか。当該項目の目標値に対する実績値を見るに、男性の育児休業取得率は大変低いものとなっているように感じられる。可能であれば、担当部署の考えをお伺いしたい。</p>	<p>・育児休業取得に際しては、各職場での取得しやすい環境づくりが必要であります。今後、庁内連携や、市内事業者で構成される協議会や組織の活用を通じて、働き方改革の一環として周知し、休業を取得しやすい職場環境整備を促してまいります(福祉課子育て支援班)。</p>
14	44	1	大学生・短大生等向けの就職情報を発信する情報サイトの立ち上げについて	<p>「若者の流出」対策の第一歩として、市はホームページに大学生・短大生等の新卒者向け就職情報サイトを開設し、地元出身の大学生・短大生等へ地元企業の求人を積極的に情報発信すべきある。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少の主要因である「就職機における若者の流出」について、高校生を対象とした就職支援(「若者の就労支援」「市内企業と若者のマッチング支援」)はあるが、大学生等などを対象としたものは見られない。</li> <li>・就職活動は、高校生と大学生・短大生等では状況が全く異なる。高校生が地元企業から学校へ送られた求人票を見ながら進路指導の先生と相談して決めていくのに対して、大学生等はほとんどが地元の求人情報を見ないまま、「マイナビ」や「リクナビ」などの民間の就職ナビサイトを通じて、3万社前後の求人情報から就職先を決めているのが現状であり、これでは若者の流出は止まらない。また、ハローワークの求人情報は、大学等の新卒者向けに決してわかりやすいものにはなっていない。</li> <li>・こうした取組を既に実施している市町村も少なくない。新潟県見附市(人口4万人)では、ホームページでの情報掲載に加え、保護者向け求人情報の全戸配布を実施している。学生向けに就職応援メールの送信や、求人情報の送付を行っている例もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県が運営するシティプロモーションサイト「千葉県地域ごとNAVI」を通じて、匝瑳市の企業情報を発信しております。今後も担当課である産業振興課において、情報発信に力を入れるとともに、先進事例の研究に努めてまいります。</li> <li>・なお、昨年度に市内事業者を中心に構成される「匝瑳市雇用促進協議会」が設立しました。近隣の高等学校に職業情報の紹介を行うとともに、5月には高校生向けの合同説明会を開催予定でしたが、コロナウイルス感染症の拡大防止のためやむを得ず中止いたしました。今後も引き続き、事業者や関係機関と連携した企業情報の発信や交流促進に取り組んでまいります。</li> </ul>

NO.	ページ	行・箇所	指摘・変更	意見等	考え方・対応
15	全般	-	移住者、NPO法人等との交流について	移住者や地元で活動するNPO法人との交流を深め、アイデアや外部専門家の知見を取り入れることも検討してはどうか。	・NPO法人をはじめとする各種団体は、固有の特性や発信力、影響力、活動力を有していることから、こうした様々な強みを持つ団体等と連携・協働しながら、課題の解決や効果的・効率的な事業実施に努めてまいります。
16	全般	-	庁内連携と市民協働の体制づくりについて	進捗度が足踏み状況にある指標も散見されるが、それぞれの項目に記されている課題を一步一步クリアできるような、庁内連携と市民協働の体制づくりが必要である。	・庁内外の幅広い連携と協力を構築し、それぞれの主体の強みを活かしながら、取組の実施と地方創生の実現に取り組んでまいります。
17	全般	-	PDCAについて	行政の構造的問題だと思うが、「やりっぱなし」の施策が多すぎるのではないかと。PDCAのうち、PとDだけではだめだ。CとAをもっと追求しなければ匝瑳市の未来は危ない。	・御意見のとおり、成果や課題を検証し、得られた知見を踏まえて、次につなげていく仕組みを構築するよう努めてまいります。